

絵本のまち板橋 & ポローニャ絵本さんぽ

ポローニャ展と同時期に、板橋区内や都内で関連のイベントを開催します。

※下記スケジュールは予定です。会期や内容に変更が生じる可能性があります。詳細は会場に直接お問合せください。

常盤台 (板橋区)

Wanxin(わんしん)「ねこのカタチII」展
7月21日(木)～8月15日(月)
cafe arica (常盤台)
<https://www.facebook.com/cafearica>

イモマンガのよりみちショップ

7月21日(木)～8月7日(日)
リトルフラワー (常盤台)
<https://www.littleflower.store/>

駅前えほん市と

「すけすけ地図遊び」ワークショップ(てらしまちはる)
7月23日(土)～8月7日(日)
BookBASE とまわ台 (常盤台)
<https://www.instagram.com/bookbase.tokiwadai/>

たけうちひろ展

7月29日(金)～8月11日(木・祝)
本屋イトマイ (常盤台)
<https://www.booksitomai.com/>

「社の絵本 party」展

(岡田千晶、かたまつよ、豊福まきこ、はらだよしこ、藤本将、わたなべさとこ、渡辺美智雄)
7月30日(土)～8月7日(日)
杜のまぢや (常盤台)
<https://www.instagram.com/machiya.tokiwadai/>

赤塚・成増 (板橋区)

むらかみひとみ ちいさな版画展
7月22日(金)～9月21日(水)
イタリアごはんとおやつ curari (下赤塚)
<https://www.instagram.com/oyatsu.curari/>

オオノ・マユミ展「リズム」

7月21日(木)～8月6日(土)
自然派ワインとパン まさと(下赤塚)
<https://www.instagram.com/masamoto.sake/>

イランの絵本展

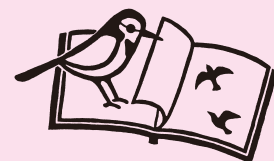
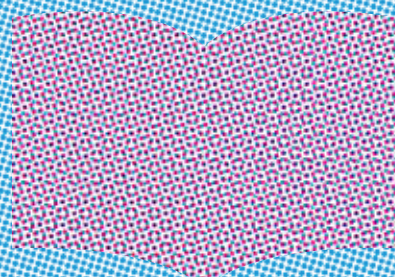
7月28日(木)～8月2日(火)
Cafe & Gallery Patina (成増)
<https://cafepatina.jp/>

池袋・目白

酒井りか インド出版記念展「青の実り」
7月12日(火)～24日(日)
B-gallery (池袋)
<http://bgallery.xsrv.jp/>

かたまつよ えほん「ぶあぶあ」原画展

7月23日(土)～8月7日(日)
貝の小鳥 (目白)
<https://kainokotori.com/>



絵本のまち板橋

板橋区では、絵本文化の展開・発信を、広く進めていきます。友好都市であるイタリア・ポローニャ市との交流や、印刷産業が多く立地する区の特徴を活かし、美術館や中央図書館を中心に、板橋ならではのブランドとして、絵本文化を発信しています。

都内

余白考 見崎彰広×山田純嗣×藤沢康人展
6月25日(土)～7月6日(水)
Bunkamura Box Gallery (渋谷)
<https://www.bunkamura.co.jp/gallery/>

刀根里衣個展「うさぎのレストラン」

7月25日(月)～30日(土)
ピンポイントギャラリー (表参道)
<https://pinpointgallery.com/>

アーティストの絵本プロジェクト④

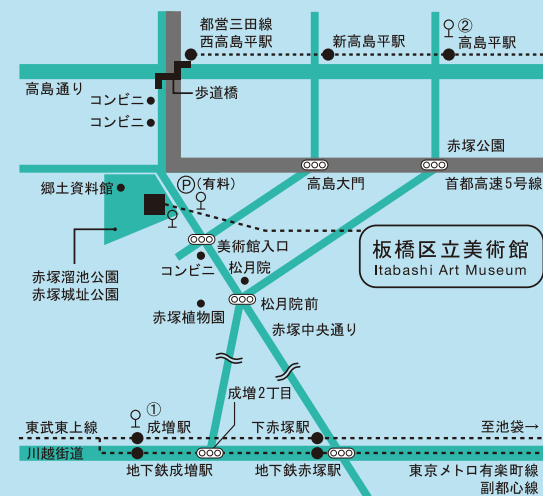
佐藤文音展「宝石少女」
8月5日(金)～20日(土)
不忍画廊 (日本橋)
<http://shinobazu.com/>

2022年度の板橋区立美術館の予定

2022年8月27日(土)～10月2日(日)
区制施行90周年記念 館蔵品展
ぞろぞろ・わいわい・人だらけー狩野派も、それ以外も

2022年11月19日(土)～2023年1月9日(月・祝)
三浦太郎展

2023年3月18日(土)～4月16日(日)
つばきちんざん
椿椿山展



交通案内

徒歩：都営三田線「西高島平駅」下車約14分

路線バス：1時間に1～2本程度 所要時間約10分

- ① 東武東上線「成増駅」北口2番のりば
「増17区立美術館」経由 高島平操車場行き「区立美術館」下車
* 東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」も利用可(5番出口)
 - ② 都営三田線「高島平駅」西口2番のりば
「増17区立美術館」経由 成増駅北口行き「区立美術館」下車
- タクシー：東武東上線「成増駅」北口または都営三田線「高島平駅」西口より約5分



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM

東京都板橋区赤塚 5-34-27 TEL.03-3979-3251
www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/

2022 ポローニャ 国際絵本 原画展



ITABASHI ART MUSEUM



2022.6.25日
～8.7日

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

月曜日休館 たたし7月18日(月・祝)は開館、7月19日(火)は休館
一般650円、高校・大学生450円、小・中学生200円

※土曜日は小中高生は無料で観覧できます ※65歳以上・障がい者割引あり(要証明書)

主催：板橋区立美術館、JBBY(一般社団法人日本国際児童図書評議会) 企画協力：Bologna Children's Book Fair
Bologna Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / BolognaFlere in partnership with JBBY
ご来館にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。
状況により記載内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

板橋区立美術館

東京都板橋区赤塚 5-34-27 TEL.03-3979-3251
www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/

「ボローニャ国際絵本原画展(通称:ボローニャ展)」は、イタリア・ボローニャで行われる児童書専門のブックフェアが主催する、児童書のイラストレーション・コンクールの入選作品を紹介するものです。国籍の異なる5人の審査員は毎年入れ替わり、多様性を重視して選考されます。出版・未出版を問わず応募できることから、新人作家の登竜門としても知られています。2022年度は過去最多の3873件のエントリーがあり、絵本作家の降矢奈々氏を含む5人の審査員による選考の結果、29か国78名が入選しました。多彩な表現、テーマ、技法による絵本原画をお楽しみください。

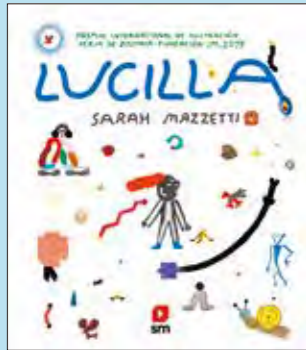
特別展示では、過去に本展に入選した2人のイラストレーターによる新作絵本を紹介します。会期中には絵本に関する連続講座や講演会も多数予定しています。本展が、絵本を通して様々な出会いの生まれるきっかけとなりますように。

特別展示「ボローニャ SM出版賞」

「ボローニャ SM出版賞」は、ボローニャのブックフェアとスペインのSM出版によって2010年に設立されました。ボローニャ展入選者の中から35歳以下を対象に1名が選ばれ、賞金と絵本を出版する機会が与えられます。

本展では、2019年受賞者のサラ・マツェッティ(イタリア)と、2021年受賞者のチュオ・ベイシン(台湾)による新作絵本をご紹介します。ボローニャ展から羽ばたくイラストレーターの活躍をご覧ください。

※2020年はコロナ禍の影響で本賞は開催されませんでした。



左: サラ・マツェッティ(Sarah Mazzetti)「ルシラ」(2020, Ediciones SM)
右: チュオ・ベイシン(Pei-Hsin Cho)「漁師とその魂」(2022, Ediciones SM)



「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア(BCBF)」と「ボローニャ国際絵本原画展」

「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア(BCBF)」は、児童書専門の見本市として1964年に始まりました。現在では、出版社による版權の売買のみならず、展覧会や講演会をはじめとするイベントも多数行われ、児童書の新たな企画を生み出す場として、世界中から大勢の児童書関係者が集まります。

「ボローニャ国際絵本原画展」は、このブックフェアが主催する児童書のイラストレーション・コンクールです。実験的な試みを積極的に受け入れ、多様な絵本表現が見られることが魅力です。2022年のボローニャ展の審査員は、絵本作家の降矢奈々氏とともに、フランス、ポーランド、イタリア、ベネズエラの専門家たちが務めました。過去最多の3873件(92か国)の応募の中から、1次・2次審査で318名のファイナリストが選出され、最終審査の結果、入選者として29か国78名のイラストレーターが選ばれました。



ワークショップ

第22回 夏のアトリエ「絵本ラボ」

イラストレーターを対象に、絵本制作の総合的・専門的な指導を行います。今回はファーストブックをテーマにします。**7月26日(火)～30日(土)の5日制 10:00～16:00**
講師: 若月真知子氏 (ブロンズ新社代表)
対象・定員: イラストレーター又はイラストレーターを目指す方で、イラスト・絵本の制作経験があり、全日程参加できる18歳以上の方・20名(書類選考あり)
参加費: 11,000円(別途材料費等)
申込方法: 往復はがき以下の内容をご記入の上、お申込みください。

①「夏のアトリエ」申込 ②氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号 ③出版歴のある方はタイトルと出版社 ④これまでの制作活動 ⑤主な使用技法 ⑥参加希望の理由 ⑦過去の「夏のアトリエ」「夏の教室」「夏のセミナー」参加の有無
※返信面にも住所・氏名を明記の上、宛先: 板橋区立美術館「夏のアトリエ係」へ
※締切: 2022年6月29日(水) 必着

絵本講座

「ゲームデザインから学ぶ絵本作り」

ゲーム開発の現場で使われる手法を取り入れながら、魅力的なキャラクターを考案し、3日間で文字のない4コマの絵本制作にチャレンジします。**7月2日、9日、16日(いずれも土)の3日制 13:30～16:30**
講師: からさわようすけ氏 (絵本作家、ゲームデザイナー)
対象・定員: 高校生以上の方・20名
参加費: 4,800円
申込方法: 6月4日(土) 午前9時より電話で先着

中高生絵本講座

昔話などのストーリーを用いながら、ワークショップ形式で絵本作りを行います。材料や技法を工夫することで2日間で1冊の絵本を仕上げることを目指します。**8月3日(水) 13:00～16:00、8月10日(水) 10:00～16:00の2日制**
講師: なかむらしんいちろう氏 (絵本作家、日本児童教育専門学校専任講師)
対象・定員: 全日程参加できる中学生及び高校生20名(抽選)
参加費: 2,400円
申込方法: Eメール(bijyutsu@city.itabashi.tokyo.jp)に、以下の内容をご記入の上お申込みください。
①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④学校名・学年
※メールの件名は「中高生絵本講座申込」としてください
※締切: 2022年7月20日(水)

講演会、対談

いずれも参加費無料・定員40名
申込方法: 各申込開始日より電話で先着、1申込につき2名まで
状況によっては講師がオンラインで講演をする可能性がございます。

対談

「2022ボローニャ展入選者に聞く」

6月25日(土) 14:00～15:30
講師: 2022ボローニャ展入選者
司会: 松岡希代子 (板橋区立美術館長)
申込開始: 6月4日(土) 午前9時

対談「2022ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア総復習」

7月10日(日) 14:00～15:30
講師: 広松由希子氏 (絵本評論家)
松岡希代子 (板橋区立美術館長)
申込開始: 6月4日(土) 午前9時

講演会「審査とブックフェア2022を振り返って」

7月18日(月・祝) 14:00～15:30
講師: 降矢奈々氏 (絵本作家、2022ボローニャ展審査員)
申込開始: 7月2日(土) 午前9時

対談「ボローニャ現地報告 コロナ禍とウクライナ危機の中で」

7月24日(日) 14:00～15:30
講師: 森泉文美氏 (本展コーディネーター)
松岡希代子 (板橋区立美術館長)
申込開始: 7月2日(土) 午前9時

講演会

「ブロンズ新社の絵本づくり」

7月31日(日) 14:00～15:30
講師: 若月真知子氏 (ブロンズ新社代表)
申込開始: 7月2日(土) 午前9時

子どもたちへ向けて

こどもアトリエ

イラストレーターを講師に身近な材料で楽しく工作をしましょう。ご家族でご参加ください。**6月26日(日)「もようの服をつくろう」**
講師: オオノ・マユミ氏 (イラストレーター)
申込開始: 6月4日(土) 午前9時

7月17日(日)「切り紙でモビールをつくろう」

講師: むらかみひとみ氏 (絵本作家)
申込開始: 7月2日(土) 午前9時

各日とも10:00～12:00 / 14:00～16:00
対象・定員: 3歳～小学生のお子さんと保護者・各回12組
参加費: 1組1,000円
申込方法: 各申込開始日より電話で先着

しかけ絵本をつくろう

「ガバッとひらく大きなしかけ」

夏休みの3日間で1冊の絵本を作ります。今回はページ全体に大きく広がるしかけを学びます。**7月21日(木)、22日(金)、23日(土)の3日制 14:00～16:00**
講師: 岡村志満子氏 (グラフィックデザイナー、絵本作家)
対象・定員: 全日程参加できる小学1～6年生20名(抽選)

参加費: 2,400円
申込方法: Eメール(bijyutsu@city.itabashi.tokyo.jp)に、以下の内容をご記入の上お申込みください。
①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④学校名・学年
※メールの件名は「しかけ絵本をつくろう申込」としてください
※締切: 2022年7月6日(水)

板橋区立美術館 電話: 03-3979-3251



1



2



8



9



10